

Eメールニュース「みやぎの九条」 NO. 332

2020年10月15日発行／みやぎ憲法九条の会

Home Page <http://miyagi9jou.sakura.ne.jp/>

ホームページに九条の会の活動を掲載しています。企画のチラシ、報告、ニュースなど寄せてください。連絡先：info@9jou.jp

緊急署名(10/12 現在)

宮城県内9条の会連絡会：2,917筆 他団体：3,127筆

合計 緊急署名推進センターの集約：6,044筆

六地域九条の会から署名が寄せられました。ハガキなんと千葉県からも届きました。

* 署名は県名よりしっかり書きましょう。「●●市」などは他県に同名の地名がある場合は除かれます。もちろん、「同上」「〃」は不可です。国会提出時に大変な苦勞となっています。よろしく願いいたします。(「憲法共同センター」よりの連絡 再)

地域の九条の会で配付希望されるところはみやぎ憲法九条の会事務局に必要な枚数をお申込みください。申し込みされたところには宅急便でお送りします。12月20日までに投函された場合は郵便料金は着払いでみやぎ憲法九条の会で負担します。

* 安倍首相の辞任にともない、現行の署名はどうなるかということ事務局団体の憲法共同センターにお聞きしました。10月7日に新たな署名用紙(版下)をUP。現在作成中です。完成したらニュースに掲載します。これまでの署名用紙も同じ請願内容ですので使用できます。11月19日に国会提出を予定していますので、11月4日までに集約センターにお送りください。



10月の「19日行動」

19日行動は2015年9月19日に9条に違反する「安保法制強行採決」したことを忘れず、「安保法制廃棄」を求めて毎月行っている運動です。

- 仙台市：10月19日（月）12:00～13:00 場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前
- 石巻市：10月19日（月）16:00～17:00 場所：石巻工業高校前・蛇田交差点
- 涌谷町：10月19日（月）13:00～13:30 場所：涌谷公民館前交差点
- 小牛田：10月19日（月）13:00～13:30 場所：国道108号山の神神社前交差点
- 気仙沼市：10月19日（月）16:00～17:00 場所：ホームック前

宮城県内九条の会連絡会の街頭宣伝は毎週火曜日

場所：仙台市中央通東二番丁 平和ビル前。

時間：12時から13時まで。

実施日：10月27日。10月20日は前日が19日行動のため休み。11月10日、24日
3日・17日はお休みします。

11月3日は澤地久枝さんの提唱「アベ政治を許さない！」Day！！

- ・ 午後1時キッカリに「アベ政治を許さない！」ポスターを掲げましょう。
- 名取市 ヤマザワ前道路交差点
- 涌谷町 涌谷公民館前交差点
- 宮城野区 坂下交差点

【これからの県内催事情報】

2020くらしをよくする泉懇話会定例学習会

「近年の水害の被災メカニズム」

「50年に一度の災害」「経験したことのない大雨」・・・気象庁の警報が年々エスカレートする豪雨が日本を襲っています。昨年の台風19号、5年前の関東・東北豪雨では七北田川・支流も氾濫し大きな被害をおこしています。命とくらしを守る上で河川の現状と問題点を知ることが、もはや避けて通れません。

日時：10月17日（土）10：00～11：45

会場：旭ヶ丘市民センター第4会議室（仙台市青葉区旭ヶ丘3丁目25番15号 地下鉄旭ヶ丘駅上）

講師：三戸部 佑太さん（東北学院大学工学部）

資料代：500円

主催：くらしをよくする泉懇話会事務局 373-0381（菅原方）

◇お願い：ご参加の際にはマスクの着用をお願いします。

消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城講演会

「Dr. 本田の社会保障切り捨て日本への処方せん」

社会保障の財源には消費税を充てるはずが、増税されても充実していません。社会保障崩壊の根底には、明治維新以来勝者が書いた歴史を、国民が疑うことなく信じている構図があります。「財政危機だから」という言葉は「呪いの言葉」。財政危機を理由に、消費増税や社会保障改悪がいとたやすくできています。騙されないようにしっかりデータを見て、ものごとの本質を見ていきましょう。

日時：10月26日（月）10：30～12：00（開場10:00）

会場：フォレスト仙台2階

講師：本田 宏さん（元外科医、NPO 法人医療制度研究会副理事長）

* 第7・10会議室への来場またはオンライン参加

主催：消費税率引き上げをやめさせるネットワーク宮城

参加費：無料（定員60人）

問い合わせ先：仙台市青葉区柏木1-2-45 フォレスト仙台5階

事務局：加藤（宮城県生協連気付）

TEL 022-276-5162 FAX:022-276-5160 E-mail sn.m31660hk@todock.coop

男女共同参画推進せんだいフォーラム 2020

女性議員を増やし、政治を変えよう！～ポストコロナの新しい社会のために～

この間のコロナ危機によって、政治の在り方が私たちの直結していることに改めて気づかされています。一方、日本は女性議員・女性首長の数が諸外国に比べても極端に少ない現状にあります。女性議員を増やせば政治や社会はどう変わるのでしょうか。

日時：11月14（土）13：30～15：45

会場：エル・パーク仙台6F ギャラリーホール（141ビル仙台三越定禅寺通り館）

基調講演：長谷川公一さん（東北大学名誉教授・尚絅学院大学大学院特任教授）

「女性の政治参画」

ディスカッション：「女性議員を増やせば、政治はどうか変わるの？」

県内女性議員の皆さん

報告：「国会におけるジェンダーフリー」

石垣のりこさん

主催：（公財）せんだい男女共同参画財団

企画運営：「女の平和」ピースアクションみやぎ・宮城女性九条の会

連絡先：090-5832-6836

宮城県内九条の会連絡会学習会

「敵基地攻撃能力ってなに？（仮称）」

陸上配置型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」導入断念に伴い、政府・自民党が新たなミサイル防衛策と抑止力強化の議論に着手。自民党関連会合に有識者として呼ばれた谷内前国家安全保障局長は「一定の打撃力を持つべきだ」と提案。政府は敵の攻撃を防ぐために他に手段がなければ、敵基地攻撃の範囲内という立場。（時事ドットコム 7/1）

日時：11月21日（土）13：30～17：00

会場：仙台市シルバーセンター第一研修室

講師：本多勝利さん(交渉中：宮城県平和委員会)

主催：宮城県内九条の会連絡会

紹介

憲法会議と、日本平和委員会で「『敵基地攻撃能力』っていったいなに？」というパンフを発行しました。みやぎ憲法九条の会で500部取り寄せました。学習のために必要という宮城県内の地域九条の会には一部10円にてお分けします。

ご希望の九条の会は九条の会名、申込者、電話番号、送付先住所を明記の上、みやぎ憲法九条の会にメールもしくはFAXでお申し込みください。代金は金額の郵便切手をみやぎ憲法九条の会事務局にお送りください。FAX：022-2776-5160



戦争を語りつぐ上映会（11月）

「沖縄・戦世の記録」～戦場の住民たち・日本とアメリカのはざままで～

～1フィート映像の証言～

アメリカ国立公文書館などに収蔵されている沖縄戦の記録フィルムを一人1フィート（約30秒）分購入し、記録映像を通して沖縄戦の実相を伝えてきた「1フィート運動の会」が制作した「ドキュメント沖縄戦」の映像を通して、歴史の重みをひもとく。

第1回「戦場の住民たち」は、これまでほとんど映像を発見できなかった南部戦線や、住民の半数が亡くなった伊江島など、映像に刻まれた戦火のもとで逃げ惑う住民たちの姿を見つめ、沖縄の人々の平和への願いを伝える。

第2回「日本とアメリカのはざままで」は、非戦闘員を巻き込んだ激しい戦闘の映像。彼らは日本軍からは差別され、米軍からは占領の口実にされた。そして今も基地の状態

は続いている。その苦難の歴史をふりかえりつつ米軍の沖縄占領を正当化する「マイノリティの論理」について考える。（1995年放送、90分）

■同時上映「戦後75年 東北の戦争を語り継ぐ」

「知られざる戦争の痕跡（宮城・松島町）」、「艦砲射撃を語り継ぐ（岩手・釜石市）」、「”最後の空襲”記憶を伝える（秋田市土崎）」の3本を紹介。東北地方で戦争を経験した方々の証言を振り返り、戦争を語り継ぎます。（2020年放送、23分）

◇日時：11月17（火）13：00～15：00（参加費：無料）

◇会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

◇主催：泉病院友の会平和の委員会

◇申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名（要事前申込）

* ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。

憲法9条ってなにっしや Part5 1

「平和憲法を考える～鈴木義男から学ぶ～」

いまでは当たり前のように存在する「日本国憲法」ができたのは終戦の翌年1946年。その条文の作成には数多くの日本人の叡智が込められており、福島出身の鈴木義雄（1894～1963年）の「平和的生存権」の思想もその一つです。

戦前、軍事教練の導入に反対したことから東北大の教壇を追われ、その後は弁護士として人権侵害や治安維持法違反者の弁護に尽力。戦後、国会議員となり9条の「平和」の文言の提案、GHQ憲法草案になかった25条（生存権）の追加、弁護士時代の経験から国の不法行為に対する国家賠償請求権、冤罪者に対する刑事補償請求権の追加に努めました。

10代で東北学院に学び、晩年東北学院理事長を務めた、その生涯を憲法とのかかわりについて学び、「憲法改正」阻止と平和を守る意義について考えてみませんか。

◆映像： 「義男（ギダン）さんと憲法誕生」（58分）

- ◆お話： 仁昌寺 正一さん（東北学院大学名誉教授）
- ◆日時： 11月29日(日) 13:30～15:30
- ◆会場： 泉区加茂市民センター（仙台市泉区加茂4-2）
- ◆主催： 9条を守る加茂の会、参加費無料
- ◆連絡先： 油谷重雄 022-378-5765

参加の方は、マスクの着用をお願いします。

戦争を語りつぐ上映会（11月）

「果てなき殲滅戦（せんめつせん）」～知られざる日本本土上陸作戦～

75年前、九州南部は無残な殺戮の戦場となろうとしていた。1945年夏、沖縄戦後アメリカ軍は「オリンピック作戦」と呼ばれる九州南部への上陸作戦計画を進めていた。米陸軍参謀総長ジョージ・マーシャルの肉声テープには、「アメリカ軍は9個の原爆準備していて、九州南部（鹿児島）への上陸作戦に間に合うはずだった。この作戦が実現していたら、恐るべき事態になっていただろう」との発言が残されている。

兵力は米軍史上最大規模の76万。何故空前の作戦が進められるに至ったのか。作戦の舞台裏を追跡、すると驚愕の作戦が次々と遂行されようとしていたことが明らかに。

（2020年放送、48分）

■同時上映「ノモンハン 責任なき戦い」

81年前、モンゴル東部の大草原で、日ソ両軍が激戦を繰り広げたノモンハン事件。ソ連軍が大量投入した近代兵器を前に、日本は2万人に及ぶ死傷者を出した。

この戦争は。情報を軽視した楽観的な見通しや、物量より優先される精神主義など、太平洋戦争でも繰り返される“失敗の本質”が凝縮されていた。しかし軍は、現場の将校には自決を強要した一方で、作戦を主導した関東軍のエリート参謀たちはその後復帰させ、同じ失敗を重ねていった。

ソ連軍の記録映像を着色し、戦場の実態を現代によみがえらせる。さらに軍の判断の経緯が証言された、陸軍幹部の肉声テープから敗北はどのようにして隠され、失敗は繰り返されたのか。映像と証言から迫る。（2018年、73分）

◇日時：12月10（木）13：00～15：00（参加費：無料）

◇会場：泉病院友の会ホール（仙台市泉区長命ヶ丘2-1-1）

◇主催：泉病院友の会平和の委員会

◇申込先：泉病院友の会378-3883 定員10名（要事前申込）

*ご参加の方は、マスクの着用をお願いします。